

# 目次

刊行に寄せて	安岡 昭男	i
序	編著者 太田 弘毅	iii
凡例		vii
<b>第一部 概観的史料</b>		3
〔概観的史料1〕 元寇記念碑建設運動の原点		5
〔概観的史料2〕 長崎事件——長崎清国水兵暴行事件		6
〔概観的史料3〕 長崎事件を報ずる当時の新聞		7
〔概観的史料4〕 元寇記念碑建設運動の経過		10
〔概観的史料5〕 護国の義務——元寇記念碑建設運動の根底にあるもの		12
〔概観的史料6〕 一大記念碑の建設を決意		13
〔概観的史料7〕 元寇記念碑建設檄文の作成		14

[概観的史料 8]	『孫みやげ——日本無双記念碑咄し——』	16
[概観的史料 9]	最初の建碑予定候補地——『首切塚』の現状——	22
[概観的史料 10]	『元寇記念碑来歴一斑』	23
[概観的史料 11]	元寇記念譚	36
[概観的史料 12]	蒙古の略史——成吉思汗による諸国征服以後——	41
[概観的史料 13]	成吉思汗鉄木真の事	43
[概観的史料 14]	因として 婦人の教育美談を記せん	44
[概観的史料 15]	忽必烈の略伝	46
<b>第二部 工事過程史料</b>	——計画発表から完工除幕式まで——	49
[工事過程史料 1]	元寇記念碑建設誓旨 明治二十一年一月一日	51
[工事過程史料 2]	元寇記念碑建設——計画の発表——	52
[工事過程史料 3]	元寇記念碑建設起工式 明治二十三年四月二日	53
[工事過程史料 4]	筑前千代松原	53
[工事過程史料 5]	起工式の有様	54
[工事過程史料 6]	元寇記念碑起工式祝歌二題	55
[工事過程史料 7]	元寇記念碑起工式を報ずる新聞記事および紙面	57

(工事過程史料 8)	元寇記念碑建設の美挙	59
(工事過程史料 9)	『元寇反撃 護国美談』「緒言」部分——記念碑建設への勧誘	62
(工事過程史料 10)	『元寇反撃 護国美談』「結論」部分——記念碑建設への勧誘	63
(工事過程史料 11)	『元寇反撃 護国美談』の広告文——記念碑建設への勧誘	64
(工事過程史料 12)	最初の案は馬上姿の北条時宗像——「元寇記念碑建設義捐金募集広告」 新聞広告とポスター	65
(工事過程史料 13)	元寇記念碑の規模——亀山上皇銅像	67
(工事過程史料 14)	亀山上皇銅像関係の新聞記事二種	68
(工事過程史料 15)	成功除幕祝詞 明治三十七年十二月二十五日	69
(工事過程史料 16)	元寇記念碑除幕式を報ずる新聞記事および紙面	71
(工事過程史料 17)	亀山上皇御像の奉安殿——原型木像の行方と保存	73
<b>第三部 幻灯史料</b> ——初期の講演会は幻灯を携行——		
(幻灯史料 1)	護国談元寇歴史映画概略／《参考》本仏寺所蔵の「種板三十八枚」	77
(幻灯史料 2)	元寇記念護国談幻灯注意	87
(幻灯史料 3)	幻灯会のエピソード	88
(幻灯史料 4)	元寇反撃の歴史画を幻灯を用い映す	90

〔幻灯史料5〕	湯地丈雄等の講演会日程——抜粋、幻灯携行しながら——	91
〔幻灯史料6〕	幻灯携行の際における講演二例	96
〔幻灯史料7〕	屯田兵の義捐を報ずる新聞記事	102
〔幻灯史料8〕	護国幻灯会開催に対しての礼状五種	103

#### 第四部 図版史料——ハイライトシーンと蒙古全盛之帝王名臣図——

〔図版史料1〕	文永十一年蒙古軍対馬ヲ侵掠スル図	110
〔図版史料2〕	文永ノ役蒙賊壹岐ニ上陸シ島民ヲ戮殺スル図	111
〔図版史料3〕	蒙古ノ賊兵博多ニ進ミ我戦死者ノ胸腹ヲ割キ肝ヲ喰ヒ血ヲ啜ル図	112
〔図版史料4〕	龜山上皇ノ宣命ヲ奉シ藤原経任伊勢大廟ニ参拝スルノ図	114
〔図版史料5〕	河野六郎輕舸ニ乗シテ敵艦ヲ襲撃スル図——附 図版一齣——	116
〔図版史料6〕	筑前玄界洋ニ蒙古船艦覆没スル図	118
〔図版史料7〕	蒙古全盛之帝王名臣図と蒙古国勢力略記	119
〔図版史料8〕	蒙古国勢力略記（図面写真版参考）	122

#### 第五部 絵画史料——十四枚の大油絵——パノラマ画・テンペラ画——

〔絵画史料1〕	元寇歴史紀念大画写真版序	127
---------	--------------	-----

[絵画史料2]	第一図	元皇帝フビライと群臣たち(図解・説明・図説要領)……………	130
[絵画史料3]	第二図	正面に北条時宗の肖像、その下に大宰少貳覚恵が、元の牒状を読む(図解・説明)……………	133
[絵画史料4]	第三図	文永の役時、対馬の宗助国が奮戦(図解・説明・講話要領)……………	135
[絵画史料5]	第四図	宗助国の戦死する図(図解・補足説明)……………	138
[絵画史料6]	第五図	文永の役時、壹岐の平景隆が力戦(図解・補足説明・図説)……………	140
[絵画史料7]	第六図	文永の役時、敵軍博多湾へ上陸する図(図解・説明)……………	143
[絵画史料8]	第七図	元上陸軍、千代の松原に陣する(図解・説明・図説)……………	145
[絵画史料9]	第八図	戦間期の建治元年、元使を鎌倉で斬る(図解・説明)……………	148
[絵画史料10]	第九図	紫宸殿より伊勢神宮へ、勅使発遣(図解・説明・図説)……………	150
[絵画史料11]	第十図	伊勢神宮へ、勅使到着する(図解・説明)……………	152
[絵画史料12]	第十一図	弘安の役時、博多湾での攻防(図解・説明)……………	154
[絵画史料13]	第十二図	河野通有等、元艦船を攻撃する(図解・説明・図説)……………	156
[絵画史料14]	第十三図	大暴風雨起り、敵艦船覆滅(図解・説明・図説)……………	159
[絵画史料15]	第十四図	筑前海岸の今津付近の惨状(図解・説明)……………	162

第六部 絵画関連史料

[絵画関連史料 1]	国民教育元寇油絵大幅製作序言	167
[絵画関連史料 2]	懸題優等作文抄録——入選作の一例	169
[絵画関連史料 3]	矢田一嘯画伯の大油絵——パノラマ画・テンペラ画——の関係記事 蒙古襲来大絵	171
	卷／大絵巻の公開	174
[絵画関連史料 4]	大パノラマ画とテンペラ画	175
[絵画関連史料 5]	最初の大油絵——パノラマ画・テンペラ画——は「元軍覆滅」の図	177
[絵画関連史料 6]	「パノラマ世界」 火野葦平	180
[絵画関連史料 7]	大油絵——パノラマ画・テンペラ画——の果たした功績	181
[絵画関連史料 8]	元寇大油絵出張展覧会概則	183
[絵画関連史料 9]	湯地丈雄等の講演会日程——抜粋、大油絵（パノラマ画・テンペラ画）携行しながら——	185
[絵画関連史料 10]	青森市における元寇大油絵展覧	186
[絵画関連史料 11]	青森市における巡回講演（明治三十四年六月十五～十七日間）とその広告文	187
[絵画関連史料 12]	元寇記念油絵展覧会の新聞記事	188
[絵画関連史料 13]	湯地丈雄の講演と歌唱は国民教育——視聴覚教育の実践——	189

[絵画関連史料14]	北条時宗追祭において、大油絵——パノラマ画・テンペラ画—— 展覧への感謝状……………	188
[絵画関連史料15]	大油絵——パノラマ画・テンペラ画——を観る者への注意……………	189
[絵画関連史料16]	「元寇役の大画面で国民精神を振揮した湯地翁の功績」……………	190
[絵画関連史料17]	大油絵——パノラマ画・テンペラ画——の現在……………	192
[絵画関連史料18]	大油絵——パノラマ画・テンペラ画——、寄託から寄贈へ——矢田一嘯筆「蒙古 襲来大油絵」奉納……………	193
[絵画関連史料19]	靖国神社への奉納申請書の追記部分……………	195
[絵画関連史料20]	靖国神社への奉納申請書……………	197
<b>第七部 音 楽 史 料</b> ……………		
[音楽史料1]	軍歌『元寇』……………	201
[音楽史料2]	軍歌『元寇』の作成——経緯(その一)——……………	204
[音楽史料3]	軍歌『元寇』の作成——経緯(その二)——……………	205
[音楽史料4]	湯地丈雄、軍歌『元寇』を歌唱して余話……………	207
[音楽史料5]	『十二歳の初陣』の歌詞・歌曲……………	208
[音楽史料6]	『勝ちて』歌詞のみ／《参考》『抜刀隊』の歌曲……………	212

〔音楽史料7〕	『成吉思汗』 歌詞のみ……………	214
〔音楽史料8〕	『古今の恵』 の歌詞・歌曲……………	216
〔音楽史料9〕	『元寇紀念の歌』（対馬）（巻岐） の歌詞・歌曲……………	219
〔音楽史料10〕	『蒙古襲来反撃の軍歌』 歌詞のみ……………	222
〔音楽史料11〕	小学生の歌う軍歌……………	224
〔音楽史料12〕	全国の有志から寄贈の歌詞——その三例……………	227
〔音楽史料13〕	水雷艇幼年号の勧め——音符と歌詞……………	230
<b>第八部 護国運動の諸相……………</b>		
〔護国史料1〕	『伏敵編』 の編纂と元寇紀念碑建設運動……………	235
〔護国史料2〕	『伏敵編』 大尾——元寇役関係史料集発行の意味……………	236
〔護国史料3〕	『伏敵編』・『靖方溯源』 を推薦……………	238
〔護国史料4〕	少弐資時の墳墓を発見、追祭を復興……………	239
〔護国史料5〕	湯地丈雄の猷袋を報ずる新聞記事……………	240
〔護国史料6〕	北条時宗への追慕——北条時宗宮中和歌御題（湯地丈雄作、明治二十三年三月）……………	241
〔護国史料7〕	懸題優等作文抄録——入選作の一例……………	243
〔護国史料8〕	毎年一定ノ日ヲ以テ、全国挙テ元寇殉難者吊祭会創設スヘキ。同感者勸募廣告……………	245



[護国史料9]	元寇殉難者国祭復興主意書——檄文・明治三十年一月十日——	246
[護国史料10]	元寇殉難者国祭ニ関スル建議——帝國議會満場一致、明治三十六年三月二十四日——	247
[護国史料11]	大日本護国幼年会の創立	248
[護国史料12]	水雷艇貯金のいさみ	249
[護国史料13]	水雷艇貯金へ拠金の仕組み	251
[護国史料14]	大日本護国幼年会の徽章と水雷艇のイラスト	253
[護国史料15]	水雷艇貯金へ拠金の仕組み——歌詞に託して——	254
[護国史料16]	共同貯金組合	255
[護国史料17]	水雷艇幼年号関係の新聞記事二種／大日本護国幼年会／水雷艇幼年号	255
[護国史料18]	総高金一万一千二百円余——水雷艇幼年号の募金状況——	256
[護国史料19]	元寇記念碑建設の往時を追懐——山中立木稿——	257
<b>第九部</b>	<b>湯地丈雄略伝と、建碑運動を助けた矢田一嘯画伯・佐野前励師の軌跡</b>	261
[伝記史料1]	湯地丈雄の略伝(前半生)／福岡警察署長時代の湯地丈雄(肖像写真)	263
[伝記史料2]	元寇記念成功 護国幼年会創立 履歴一斑——湯地丈雄——	267
[伝記史料3]	「元寇狂と呼ばれたる故湯地丈雄翁」 青木矮堂	277

